

防草シートや遠隔カメラの導入により茶園管理の省力化が図れます！



図1 防草シート・遠隔カメラの設置状況



図2 撮影した画像 (R5.3.9)

<メリット>

(防草シート)

1. 雑草の発生を抑制し、除草にかかる作業時間や労力を削減できます。
2. 除草剤を使わないことから環境への負荷を軽減できます。

(遠隔カメラ)

1. 農作物の生育状況をリアルタイムで確認できます。「摘採適期の把握」や「凍霜害など気象災害、病虫害などへの対応」が迅速に行えます。
2. 頻繁に畑を訪れる必要がなくなり、労力と時間を節約できます。
3. 農作物の盗難や鳥獣害への対応にも参考になります。

<デメリット>

1. コストがかかります

(初期コスト 防草シート・カメラ購入代など) (ランニングコスト 通信費など)

防草シートの導入

圃場の縁や通路などに防草シートを敷きます。

敷く時期は、雑草の発生が少ない冬季～春先(12月～3月)がオススメです。

遠隔カメラの導入

導入する場合は、サービスを提供している事業者と契約などが必要です。各社それぞれ異なる特徴や強みを持っており、具体的なニーズに合わせて選ぶと良いでしょう。

詳細や導入に向けては、各社のウェブサイトの確認や問い合わせをお願いします。

<導入手順>

1. カメラの購入
2. カメラ通信契約
3. カメラの設置
4. web やアプリで生育を確認